



2022年11月11日

- I.会議名 :2023年度第48回近畿修猷会総会
- II.開催日時:2023年11月11日(土)16:02~16:45
- III.開催場所:ホテルモントレグラスミア大阪/21F スノーベリー
- IV.参加者 :会場 来賓6名 会場参加161名(うち朋猷会34名) 合計167名

V.議案

報告事項 事業報告

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

第2号議案 世話人選任(案)について

第3号議案 相談役選任(案)について

第4号議案 次年度事業運営方針及び収支予算(案)について

近畿修猷会会則第9条第2項により大竹恵代表世話人が議長となり、事業報告の後、第1号から第2号議案(添付の議案書ご参照)について大竹議長より提案があった。

第1号議案についての提案説明後、石田会計監事世話人より監査報告を行った。賛否を議場に諮ったところ賛成多数で「2022年度通期決算」及び「2023年度10月15日までの決算」が承認された。

第2号議案についての提案について、大竹議長の指名により遠座俊明次期代表候補から人選について説明後採決を行い、賛否を議場に諮ったところ賛成多数で2024年度から2年任期の「世話人選任」が承認された。

第3号議案についての提案説明後、採決を行い、賛否を議場に諮ったところ賛成多数で2024年度から2年任期の「相談役の委嘱」が承認された。

第4号議案については、遠座新代表に議長を交代し、説明後採決を行い、賛否を議場に諮ったところ賛成多数で「2024年度方針」と「2024年度予算」が承認された。

所定の議事が終了したため16:45大竹議長が閉会を宣した。

以上



第48回(2023年度)近畿修猷会総会 議案書

- I. 会議名 :2023年度 近畿修猷会総会
- II. 開催日時:2023年11月11日(土)16:00～
- III. 開催場所:ホテルモントレグラスミア大阪(難波)
- IV. 議案
 - 報告事項 事業報告
 - 第1号議案 決算書類承認の件/監査報告
 - 第2号議案 世話人選任(案)について
 - 第3号議案 相談役選任(案)について
 - 第4号議案 次年度事業運営方針及び収支予算(案)について

事業報告

今年の幕開けは、1月21日に3年ぶりに対面形式で第一回世話人会兼新年会をハートンホテル北梅田で開催しました。

★イベント

春イベントは、5月20日(土曜日)に「～春の琵琶湖を満喫～ミシガンクルーズと特等席ホテルビュッフェ」を開催し、秋イベントは9月9日(土曜日)に「よしもと祇園花月観劇と昼食会」、9月23日には、よみうりゴルフウエストコースで「ゴルフ大会」を開催しました。

★新聞

3月25日に第69号、9月30日に第70号を発行し各約千部弱を会員、修猷館高校、各地同窓会に送付いたしました。特に秋号は1面にラグビー部の下川甲嗣さん(平成29年卒)のインタビューを特集とし、ラグビーワールドカップフランス大会と相まってタイムリーな記事と評判となりました。

★クラブ活動

今期から活動を開始したバイクのツーリングサークルである爆猷疾走会メンバーは、モンゴルのレース遠征や信州諏訪湖ツーリングを敢行しました。前期から実質活動を開始したデジタルしつとう会も「初心者向けスマホ講座」を春と秋に各2回開催し、昭和30年代卒業の先輩方も多数参加され定着してきました。

メンバーの高齢化が進み、活動が厳しくなっていたアートクラブは油絵などの美術作品を制作する活動から内容を大きく変えて美術展を鑑賞してSNSで情報交換をする形に姿を変えて伝統ある美術系クラブをリニューアルし存続、展開することにしました。

★総会

従来会場であるヴィアーレ大阪が閉館となり、新たに当、ホテルモントレグラスミア大阪(難波)での開催となりました。また、アフターコロナの状況を勘案し経費削減のためリアルのみの開催となりました。

イベント等の開催

実施日	イベント	内容	場所	参加者数
5/20(土)	春イベント	ミシガンクルーズと特等席ホテルビュッフェ	大津	36
9/9(土)	秋イベント	よしもと祇園花月観劇と昼食会	京都	38
9/23(土)		第25回近畿修猷会ゴルフコンペ	よみうりゴルフウエスト	16
11/11(土)	総会	第48回近畿修猷会総会	ホテルモントレグラスミア大阪(難波)	-

各種会議についても、全ての常任世話人会・世話人会を会議室とオンラインの併用で開催致しました。コロナとは関係なく、参加者の状況に応じたハイブリッド化が普遍的となった年でした。

なお、議事録は近畿修猷会 HP に UP しておりますのでご参照下さい。

会議等の開催

会議体	開催日
世話人会	第1回兼新年会 1/21(土)、第2回5/12(金)、第3回 9/1(金)、第4回 9/30(土)、 第5回 11/2(木)、第6回兼忘年会 12/1(金)予定
常任世話人会	第1回 3/25(土)

本年度は以下の二つの方針を掲げて本会の運営改革に取り組みました。

1. 事業運営方針と施策

■方針1:アフターコロナ時代を見据えた会員の健康増進と親睦を図る運営へ

フラットな組織のネットワークによる新組織の定着については 6 つのチーム運営を軌道に乗せ、プロ人材や活性化したメンバーを増やすなどさらに磨きをかけてきました。

・会員サポートチームは①メンバーの役割分担の明確化②会員異動情報フォーム導入で、チェック体制の充実を図りました③会員増強のための施策のフォローを行いました。

・会計チームは若手もメンバーに取り込み、当番世話人グループとの協働をベースに会費・寄付金納入、イベント予算などきめ細かい対応を行いました。

・IT チームは各イベントの情宣、参加勧誘を HP、シクミネット、メーリンググループによりタイムリーに実施。メールによる参加申し込み者に対する自動返信システムも導入しました。HP へのこまめなイベント参加者の表示は効果的でした。また、若手 IT 人材のリクルーティングも行いました。

・事業運営チームはしくみねっとによるイベント参加勧誘や、参加者が増加してきたイベント開催に関する様々なサポートを行いました。

・統括チームは全体のお世話係という位置付けで各チームの連携、コミュニケーションの効率化のための潤滑油かつ隙間を埋める役割に努めました。また、会員増強活動も主導的に取り組みました。

・会議運営チームは IT チームと協働して各種会議の招集、zoom 実施を支援しました。

会員増強面は、現在 1000 人を若干切っている会員数の増強に関して①HP 上の会員加入アプリをでじたるしつとう会と共同開発②統括、会員サポートによる会員増強活動の具体化(平成 4 年大阪、平成 6 年福岡、平成 8 年東京の総会幹事年度及び平成 5 年来年大阪、平成 7 年来年福岡年次への前倒し勧誘)等を行いましたが、施策に掲げた 30~40 歳代、学生会員の増強には至りませんでした。

また、新聞発送者が1000人、会費納入者が 300 名(予想)と納入率が 30%程度で、また寄付の水準も横ばいでこれを引き上げる施策も来期以降の課題として残りました。

■方針 2:アフターコロナ時代のイベント、総会、クラブ活動の新しい運営の取組

春イベント、秋イベントともにアフターコロナで 40 名弱の参加によるマスクのない世界での卒年横断的な交流の一步となりました。ただ、過去は 70~80 名程度で実施していた時期もありそこに至るスタートラインには立てたと認識しています。

現在 12 あるクラブ活動も価値観の多様化に歩調を合わせ、ツーリングクラブなど幅広い世代も参加しやすい新クラブを立ち上げ早速海外遠征など活発な動きを見せています。

メンバーの高齢化により従来の活動が厳しくなったアートクラブは、活動内容をリニューアルしてさらなる展開をしていきたいと思っています。新入部員も早速 6 名入部しています。

今期から 20,000 円に増額したクラブ活動助成金は、大変効果的であるとの声が多く、引き続き継続したいと思います。

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

1. 2022 年度収支決算

昨年の総会でご承認頂いた 10 月 15 日までの決算にそれ以降 12 月末日までの数値を合算した収支は 136 千円のマイナスとなり繰越金は 4,495 千円となりました。

2022年度近畿修会収支決算書(通期)

項目	前年度実績		2022年度予算		2022年度実績		前年対比		予算対比		摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額	前年差	前年比	予算差	予算比	
繰越金	4,853,968	-	4,631,100	-	4,631,100	-	-222,868	95.4%	-	-	
年会費	858,000	-	1,020,000	-	858,000	-	0	100.0%	-162,000	84.1%	286名(うちうち137人、しくみ87人、イベント等62人)昨年286人
寄付金	278,000	-	450,000	-	229,000	-	-49,000	82.4%	-221,000	50.9%	63人(69口)昨年76口
(預り金次年度会費)	-	-	-	-	3,000	-	-	-	-	-	来年度会費預り(1名分)
同窓会本部他助成金	80,000	-	80,000	-	170,200	-	90,200	-	90,200	212.8%	同窓会本部、東京修会
寄付金(総会寄付金)	-	-	100,000	-	160,000	-	160,000	#DIV/0!	60,000	160.0%	同窓会本部、東京修会、中京修会、福中、福高同窓会、修訓徳高校
総会収入	-	-	800,000	-	934,304	-	934,304	#DIV/0!	134,304	116.8%	会員99名×8,000円、同伴者3名×6,000円 総会助成金250,000円のうち使用分124,304円
雑収入(含利息)	12	-	12	-	4	-	-8	33.3%	-8	33.3%	銀行口座預金利息
総会助成金	-	250,000	-	250,000	-	250,000	-	-	-	-	2020年度より規定により支出
総会費用	-	51,214	-	800,000	-	934,304	-883,090	1824.3%	134,304	116.8%	総会室料・料理・設備・感染防止設備・古希祝い金・総会関係印刷代・コピー・名札印刷・宅配便等
広告掲載料	-	11,000	-	11,000	-	11,000	0	100.0%	-	100.0%	同窓会本部広告費用(西日本新聞)
印刷代	-	562,375	-	520,000	-	664,638	-102,263	118.2%	144,638	127.8%	春新聞・秋新聞同封物、指込票、指込票印字サービス代金
運賃郵便料	-	135,910	-	140,000	-	134,802	1,108	99.2%	-5,198	96.3%	春・秋新聞送料
事務手数料	-	11,222	-	11,000	-	21,408	-10,186	190.8%	10,408	104.0%	しくみねごと事務手数料
通信費	-	162,151	-	160,000	-	160,407	1,744	98.9%	407	100.3%	FAX利用料、ネット使用料、ZOOM会議利用料
送金料	-	8,778	-	8,500	-	8,030	748	91.5%	-470	-	指込手数料
他総会出席費	-	-	-	-	-	20,000	-20,000	#DIV/0!	20,000	#DIV/0!	同窓会本部総会、東京修会総会出席費
当番幹事会議費	-	100,000	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	-	100.0%	懇談会活動費
春イベント助成金	-	-	-	150,000	-	150,000	-	-	-	-	春イベント助成金
秋イベント助成金	-	-	-	150,000	-	150,000	-	-	-	-	秋イベント助成金
クラブ活動助成金	-	135,000	-	150,000	-	150,000	-	-	-	-	15,000円×10クラブ(新設1クラブ追加)
事業費収支差額(春イベント)	-	-	-	-	-	47,900	-	47,900	-	-	春イベント収支差額
事業費収支差額(秋イベント)	-	-	-	-	-	112,819	-	112,819	-	-	秋イベント収支差額
事業費収支差額(総会)	-	-	-	-	-	125,696	-	125,696	-	-	総会時会員収入:1,060,000円(会員99名・同伴者3名・助成金25万円)、総会関係支出:934,304円
雑費	-	11,230	-	10,000	-	22,343	-11,113	199.0%	12,343	223.4%	ラベル代・zoom会議用スピーカー・マイク購入ほか
小計	1,216,012	1,438,880	2,450,012	2,460,500	2,640,923	2,776,922	-	-	-	-	
年度収支差額	-	-222,868	-	-10,488	-	-136,009	86,859	61.0%	-125,521	-	
繰越金	-	4,631,100	-	4,620,612	-	4,495,091	-136,009	97.1%	-125,521	97.3%	
合計	6,069,980	6,069,980	7,081,112	7,081,112	7,272,023	7,272,023	1,202,043	119.8%	190,911	102.7%	

私たち会計幹事は、2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの会計処理について監査した結果適正かつ妥当であることを認めます。

2023 年 1 月 21 日 会計監事世話人 花嶋温子(昭和 55 年卒)

会計監事世話人 石田岳彦(平成 3 年卒)

1. 収入の部では通年の会費納入者が 2021 年と同じ 286 名の 858 千円となりました。

2019 年度の会費納入者は 341 名でしたが、2021 年度、2022 年度は 286 名(2020 年度は 274 名)に留まり年会費収入は 2019 年度対比約 80%(前年対比 104.3%)の水

準でした。

2. 寄付金については、今年は 63 名(69 口)の 229 千円となり昨年の 76 名 278 千円から 49 千円減少しました。2019 年度 443 千円から 2020 年度 297 千円、2021 年度は 278 千円とビフォーコロナの 2019 年比で 52%と落ち込みました。
3. 春秋イベント、懇親会付総会実施しましたが、コロナ禍の後遺症か、会費・寄付金共に伸び悩みました。その分を総会寄付金 160 千円でカバーした形となりました。
4. 支出の部では 2020 年度から導入した春秋イベント助成金(300 千円)、クラブ活動助成金 150 千円、総会助成金 250 千円をフルで支出しました。また、懇親会付の総会を実施したため総会費用が 883 千円増加しました。
5. 総会費用は 934,304 円、総会収入 800 千円と総会助成金 250 千円の合計 1,050 千円の範囲内に収まりました。
6. 最終的に、繰越金は 4,495 千円となりました。(2021 年繰越金 4,631 千円)

2. 2023 年度収支決算(10 月 15 日現在)

収入の部では全イベントを実施し昨年比イベント時の会費納入は 11 名増加しました。また、ゆうちょ銀行振り込みが減少し、しくみねっと経由が増加しており、しくみねっとが次第に認知されてきたことを示しています。ただ、会費収入は予算を下回って低迷しております。寄付人数は昨年並みで金額は 43 千円の増加となりました。また、同窓会本部及び東京修猷会からの助成金が単年度分となり 130 千円減少し、収入は厳しい状況になり会費及び寄付金収入の増強が課題となりました。

会費納入状況(1/1-10/15)

	ゆうちょ銀行振込	しくみねっと	イベント時納入	合計
2023年	90名	91名	39名	220名
2022年	108名	80名	28名	216名
2021年	151名	67名	7名	225名
2020年	148名	61名	34名	243名
2019年	172名	32名	67名	271名

支出の部では春、秋イベントが開催されイベント助成金が 300 千円、クラブ活動助成金が 240 千円(2 クラブ増加、1 クラブあたり各 5 千円増)となりました。また春秋の新聞及び同封物の印刷費が 23 千円減少しました。また、他地区総会出席費が 20 千円増。その結果収支差額は 672 千円のマイナスとなり、繰越金は約 3,822 千円となりました。

今年度はコロナからの復活をスローガンに、春、秋イベントやゴルフ会を実施しました。それに伴い、会費及び寄付金の大幅増加を予想していましたが回復が鈍く、また本部等からの助成金が単年度分に戻り前年度比減少するなど繰越金が減少しました。本総会時及び年末までの会費及び寄付金納入の伸びを期待します。

2023年度実績(10/15迄)

2023年1月1日～2023年10月15日迄

項目	2022年度		2023年度		前年差	前年比	摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額			
繰越金	4,631,100		4,495,091		-136,009	97.1%	
振替				3,000			前年度繰越金(前受金)から今年度年会費へ振替
年会費	648,000		660,000		12,000	101.9%	220人(前年216名) (ゆうちよ89人しくみねっと91人新年会・イベント時39人前受1人)
寄付金	155,000		198,500		43,500	128.1%	45名、53口(前年は45名)
本部からの助成金 (預り金次年度会費)	170,200 3,000		40,200 -		-130,000 -3,000		同窓会本部より助成金・総会経費支給 次年度年会費預り金
雑収入(含利息)	4		10		6	250.0%	銀行口座預金利息
広告掲載料	-	11,000	-	11,000	0	100.0%	同窓会本部広告費用(西日本新聞)
印刷代	-	664,638	-	640,722	-23,916	96.4%	春新聞・秋新聞、同封物印刷費用等
運賃郵便料	-	67,562	-	76,042	8,480	112.6%	春新聞発送料
事務手数料	-	12,008	-	15,340	3,332		しくみねっと事務手数料
通信費	-	123,579	-	121,662	-1,917	98.4%	しくみねっと使用料、FAX利用料等、サーバー費用等
送金料	-	6,325	-	7,777	1,452	123.0%	各種振込手数料
他総会出席費	-	20,000	-	40,000	20,000		本部・東京・中京・福中福高総会への祝金
当番世話人会議費	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	学年世話人懇談会活動費
春イベント助成金	-	150,000	-	150,000	0		春イベント助成金
秋イベント助成金	-	150,000	-	150,000	0		秋イベント助成金
クラブ活動助成金	-	150,000	-	240,000	90,000	160.0%	20,000円×12クラブ(新設2クラブ追加)
事業費収支差額	47,900	-	2,970		47,900		春イベント開催時の収支差額等
事業費収支差額	112,819	-	-	15,102	15,102		秋イベント開催時の収支差額等
事業費収支差額	-	-	-	-	0		総会
雑費	-	22,343	-	4,000	0		新年会負担調整
小計	1,136,923	1,477,455	901,680	1,574,645	収支差額=	-672,965	
繰越金		4,290,568		3,822,126	-468,442	89.1%	
合計	5,768,023	5,768,023	5,396,771	5,396,771	-371,252		

私たち会計監事世話人は、2023年1月1日から2023年10月15日までの会計処理について監査した結果適正かつ

妥当であることを認めます。

2023年11月1日 会計監事世話人 花嶋温子(昭和55年卒)

会計監事世話人 石田岳彦(平成3年卒)

第2号議案 世話人選任(案)について

代表世話人 遠座 俊明 (S52年) 特命 TL(会員増強) TL=チームリーダー

副代表世話人 赤川 直 (S52年) 会議運営 TL

同 田口 彰 (S54年) 事業運営 TL

同 久野 啓祐 (S59年) ICT TL

同 大竹 恵 (S51年) 特命 TL(50周年、クラブ活動)

世話人 山本 啓子 (S46年) 会計(アドバイザー)

同 草野 浩一 (S51年) 会計 TL

同 遠山 雅夫 (S60年) 会員サポート TL

同 田辺 晃子 (S62年) 事業運営

同 廣津 聖子 (S63年) 会議運営・特命

同 森 敏浩 (S63年) 事業運営

同 野方 誠 (H1年) 会計

同 信國 恵美 (H1年) 会員サポート

同 安田 良子 (H1年) ICT・特命

同 後藤 健介 (H3年) 会計

同 井上 敏博 (H3年) ICT・事業運営

同 田中 健吾 (H8年) ICT・会員サポート・特命

監事世話人 花嶋 温子 (S55年)

同 石田 岳彦 (H3年)

第3号議案 相談役の委嘱(案)について

会則第8条2項に基づき、下記の4名を相談役に委嘱することをご提案致します。

松村 泰夫 (S32年)

石丸 鐵太郎 (S37年)

松川 雅典 (S40年)

芦原 直哉 (S45年)

—————<議長を新代表世話人に交代>—————

第4号議案 次年度事業運営方針及び収支予算(案)について

次年度は、コロナ後の大きく変化する時代に即し、また2025年の近畿修猷会設立50周年に向けた準備の年と位置づけ、同世代だけでなく世代間の交流・活動の更なる活性化により会員の親睦を更に深め、近畿修猷会の活動情報を域内外に発信し、会員数増をめざす組織の運営を行います。

1.事業運営方針と施策

■方針1:既活動の発展による組織活性化

これまで精力的に取り組まれてこられた近畿修猷会の特徴である「クラブ活動」による会員の活動・親睦の場づくり、「世話人会」によるフラットな組織運営を更に発展させ、若手にも様々なアイデアを出し活躍していただく会の運営を進めていきます。

特にクラブ活動はこの2年の間にも、「でじたるしっとう会」「爆猷疾走会(バイクツーリング)」「詩吟倶楽部」が誕生し、また伝統ある「アートクラブ」についても絵心がなくても気軽に参加できるようにリニューアルされ、12クラブになりました。

引き続き各クラブ活動への助成金による支援を行うとともに、新たなクラブ活動の企画・発足を支援し、多くの方々に様々な用意されたオープンなイベントなどに参加していただく活動・交流の機会を増やすことで、会員の皆さんが交流を深め、より元気・健康になっていただきたいと思います。

■方針2:2025年に向けた新規プロジェクトの立上げ、会員増強

近畿修猷会の登録会員数が1,000人を割り込み少しずつ減少しています。近畿地域に住んでいても同窓会には登録されない方が少なからず居ると考えられますので、たとえ転勤での数年間でも関西に居る間は同窓会活動に参加していただきたいと思います。そのため、歴史や娯楽、食を含めた文化、豊かな自然など、近畿ならではの生活をエンジョイしていただく、「近畿よかところ！」キャンペーンを進める会員増強プロジェクトや、大阪・関西万博開催の年である2025年に迎える近畿修猷会設立50周年に向け、準備プロジェクトを立上げ、新たな同窓会活動の姿を模索していきたいと思います。

2. 2024 年度予算(案)

今年度末の剰余金が 3,943 千円になると推測して以下の方針により下表の通り予算を編成します。

2019 年度の幹事会・総会において剰余金が 500万円を超え今後の剰余金をどうするかを議論し、助成金等を充実させて剰余金が400万円程度になる迄はできるだけ会員に還元することになりました。新型コロナの影響もあり剰余金が約 130 万円減少し 350~400 万円のレンジに入ったことで、今後は中期的にこのレベルを大きく下回らない方針とします。そのために 2024 年度は、会員数を減少から増加へと反転させ、年会費納入率の向上をはかり、イベント運営を独立採算にもどしていく初年とします。

- 1) 収入の部は、減少している会費納入を 2019 年の実績程度への回復をめざし、50 周年記念事業も考慮し寄付金増の収入を想定する(年会費+寄付金 対前年+482 千円)。
- 2) 支出の部については、諸物価が高騰する中で、春・秋イベント、総会助成金を一気には廃止せず 2024 年度については 150 千円(約 3 割)削減する。なお、以降に続く世話人が活躍しやすくするため各地同窓会への参加者の交通費を計上する。
- 3) 収支差額は約 223 千円のマイナスとなり、年度末の剰余金は約 3.720 千円となる。

2024年度予算(案)									
項目	2022年度実績		2023年度推定		2024年度予算(案)		前年差	前年比	摘要
	収入	支出	収入	支出	収入	支出			
繰越金	4,631,100		4,495,091		3,943,192		-551,899	87.7%	
振替				3,000					
年会費	858,000	0	870,000		1,020,000		150,000	117.2%	2019年度並: 会費納入者340名
寄付金	229,000	0	268,500		600,000		331,500	223.5%	2019年度比 135%(50周年事業分含む)
(預り金次年度会費)	3,000		0						
本部からの助成金	170,200	0	40,200		40,200		0		同窓会本部、東京修成会より
寄付金(総会祝儀)	160,000	0	160,000		60,000		-100,000		前年同額
総会会費	934,304	0	1,922,800		1,200,000		-722,800		収入支出仮置き
雑収入(含利息)	4	0	10		12		2	120.0%	利息
総会助成金	0	250,000		250,000		250,000			総会助成金
総会費用	0	934,304	0	2,082,800		1,200,000	882,800	57.6%	収入支出仮置き
広告掲載料	0	11,000	0	11,000		11,000	0	100.0%	前年同額
印刷代	0	664,638	0	640,722		665,000	-24,278	103.8%	新聞印刷代前年相当額
運賃郵便料	0	134,802	0	158,792		150,000	8,792	94.5%	新聞郵送費
事務手数料	0	21,408	0	26,246		19,000	7,246	72.4%	シクミネット事務手数料
通信費	0	160,407	0	158,490		160,000	-1,510	101.0%	シクミネット管理費、HP、FAX通信費等
送金料	0	8,030	0	9,427		8,500	927	90.2%	送金手数料
他総会出席費	0	20,000	0	40,000		180,000	-140,000		本部、支部等5総会×1万円、交通費
当番幹事会議費	0	100,000	0	100,000		100,000	0	100.0%	年度幹事活動助成金
春イベント助成金	0	150,000	0	150,000		75,000	75,000		イベント助成金
秋イベント助成金	0	150,000	0	150,000		75,000	75,000		イベント助成金
クラブ活動助成金	0	150,000	0	240,000		240,000	0	100.0%	クラブ活動助成金(12クラブ×20千円)
事業費収支差額1	47,900	0	2,970	0	0	0	0		春イベント収支差額
事業費収支差額2	112,819	0	0	15,112	0	0	15,112		秋イベント収支差額
事業費収支差額3	125,696	0	223,200	0	0	0	0		総会収支差額
雑費	0	22,343	0	4,000		10,000	-6,000	250.0%	
年度収入・支出合計	2,640,923	2,776,932	3,487,680	4,039,579	2,920,212	3,143,500	収支差額=	-223,288	
年度収支差額		-136,009		-551,899		-223,288	328,611	40.5%	
繰越金		4,495,091		3,943,192		3,719,904	-223,288	94.3%	
合計	7,272,023	7,272,023	7,982,771	7,982,771	6,863,404	6,863,404	-1,119,367	86.0%	

ポイント

- ① 剰余金は350万円~400万円の範囲で維持
- ② 年会費収入増に注力し、イベント助成金は縮減
- ③ 各地同窓会へ参加者の交通費を計上